

イスラエルのための祈り 「破れを繕う」奉仕

2025年12月15日恵比寿マンデー



「破れ」が生じた歴史的経緯 三枚舌外交

- ①1915 フサイン=マクマホン協定: 英国は第一次世界大戦後のアラブの独立を約束
- ②1916 サイクス=ピコ協定: オスマン帝国の大部分を英仏で2分割し、委任統治
- ③1917年 英国は**バルフォア宣言**。イスラエルの地に ユダヤ人国家建設を支持。ユダヤ人の移住を促進。

1920—1948年 イスラエルの地は**英国の委任統治下**: ②を基に、サンレモ会議で決定

英国がユダヤ人に約束したことを破り、ホロコーストの間(1933-1945)またホロコースト後も イスラエルの地へのユダヤ人の入国人数を厳しく制限

1947年**エクソダス号事件** 仮のマルセイユからユダヤ人難民4530人を乗せた船「エクソダス」がハイファ沖で英國軍により拿捕。乗客は**英國の強制送還**船でマルセイユへ引き返させられるも、仮国が上陸拒否。結局ドイツのハンブルグ収容所へ輸送。

「破れを繕う」奉仕団体(イザ58:12)



英国人クリスチヤンとして **ユダヤ人への約束を破った**ことを心に留め、英國とイスラエルの間にできた亀裂を修復する活動 :Rosie Rossさん 創立

- * 公の場でも私的な場でもユダヤ人に謝罪する。悲しみと恥を伝える。
- * 「あなたのせいではない」との反応が多い。しかし、涙を流し相手の心に深く響いているのが 分かる場合もある。
- * エクソダス号事件の影響か、「母は ドイツ人より英國人を憎んでいた」と心を開いて打ち明けられる経験。
- * 英国のスターマー首相がパレスチナ国家承認を発表したことも謝罪したい。

イスラエルのためのお祈り



- * 過去の失敗を伝道の機会へと変えて下さる主をほめたたえます。
- * ロージーさんの分析: 英国が道を誤った原因は 置換神学
世界中のクリスチヤンが置換神学から解放され、正しいイスラエル観を持つことができますように。
- * 「破れを繕う」のような和解という困難な奉仕を続けるクリスチヤンの存在によってユダヤ人が励ましを受け、イエス様に対する靈的目が開かれますように。
- * ガザから戻されていないご遺体が あと お一人。一日も早くご家族の元に帰ることができますように。